

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ジェーシービー（証券コード: -）

【見直し変更】

長期発行体格付	AA-
格付の見直し	安定的 → ポジティブ

【据置】

債券格付	AA-
国内CP格付	J-1+

■ 格付事由

- ジェーシービーは、日本発で唯一の国際ブランド「JCB」を運営するカード会社。国際ブランドホルダーとして業界におけるプレゼンスは高く、会員基盤、加盟店網、取扱高は国内トップクラスの規模を誇る。格付は、強固な事業基盤、良好な収益力および資本充実度、安定的な資金調達基盤などを反映している。国内外において、クレジットカードの会員基盤および加盟店網が拡大している上、クレジットカード以外の多様な決済手段に対しても先行的に取り組んできたことから、業界における市場地位・競争力は一段と高まる方向にある。また、コロナ禍といった逆風の中でも、高い収益力が保たれており、資本充実度が着実に向上している。以上を踏まえ、格付の見直しを「ポジティブ」に変更した。
- キャッシュレス決済市場における市場地位・競争力は強化されている。クレジットカードに関しては、国内ではプロパー・提携カードの会員数や加盟店数が拡大しているほか、海外においてもアジアを中心に提携金融機関を通じてカード発行や加盟店開拓が進んでいる。近年では、コロナ禍で個人消費が弱まる局面もあったが、Eコマース市場の拡大や有力提携先の成長などを着実に取り込み、カードショッピング取扱高は底堅く推移している。クレジットカード以外の幅広い決済手段においても、自社で培ってきた決済技術や他社との業務提携を通じて対応を進めてきたことから、高い地位を築いている。キャッシュレス決済市場は競合が激しいものの、国内最大手としての地位が揺らぐ懸念は小さいと JCR はみている。
- コロナ禍においても高い収益力を保っている。カードショッピング手数料やファイナンス収益、業務受託手数料などの多様な収益源を有しており、収益の安定性は高い。22/3 期については、前期のコロナ禍のマイナス影響から取扱高が回復しており、営業収益が拡大している。償却引当金・経常利益の水準は高く、貸倒関連費用や金融費用などの各種費用を十分に吸収する余裕がある。経常利益ベースの ROA は 2% 台と良好な水準にある。今後は会員基盤や取扱高の拡大に向けた投資のため、営業費用は一定程度増加する見通しであるが、営業収益の成長によって高い収益力を維持できると JCR はみている。
- 資産の質は良好である。与信運営方針は保守的であり、抱える信用リスクは小さい。営業資産対比でみた貸倒関連費用は抑制されている。延滞債権比率や貸倒償却率も低位で安定している。利息返還金に関するリスクは小さく、引当金は十分に積み立てられている。資本充実度は格付に十分見合う。利益蓄積が進み、資本水準は向上している。JCR 調整後の自己資本比率は良好な水準にあり、リスク対比の資本の余裕度は高い。流動性確保に関して特段の懸念はない。多数の金融機関との安定的な取引関係にあり、強固な間接調達基盤を構築している。CP や社債発行といった多様な調達手段も有している。

（担当）坂井 英和・浅田 健太

■格付対象

発行体：株式会社ジェーシービー

【見通し変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	ポジティブ

【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 32 回無担保社債（適格機関投資家限定）	40 億円	2019 年 9 月 30 日	2024 年 9 月 30 日	0.180%	AA-
第 33 回無担保社債（適格機関投資家限定）	50 億円	2020 年 12 月 24 日	2023 年 12 月 22 日	0.180%	AA-
第 34 回無担保社債（適格機関投資家限定）	40 億円	2021 年 9 月 22 日	2026 年 9 月 18 日	0.190%	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	6,000 億円	J-1+

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年6月28日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：坂井 英和
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「クレジットカード・信販」（2022年6月21日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社ジェシービー
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル